

環境に係る情報協議会

国営環境保全型かんがい排水事業 別海北部地区

1. 事業の概要

◆事業の目的

本事業では、用排水施設の整備により、必要なかんがい用水量を確保するとともに、農地の湛水被害を解消し、土地生産性の向上及び農作業の効率化による農業経営の安定を図り、地域農業の振興に資する。

併せて、本事業では、水質浄化機能等多面的な機能を有する農業用排水施設の整備を行い、環境保全の推進に資する。

◆受益面積

29,411ha

◆主要工事計画

用水路 453条 L=579km 排水路 13条 L=22km
(肥培かんがい施設 1式)

2. 別海町の環境に対する考え方

(別海町農村環境整備計画より)

◆農村環境の現状と課題

《現状》

- ・河畔林および防風保安林や草地により、広大で牧歌的な農村景観が形成されている。
- ・湖、沼、河川、これらの周辺は動植物の生息空間となっている。
- ・戸当たりの規模拡大により排出される家畜ふん尿量も増加している。

《課題》

- ・既存林帯は、各種開発に伴う伐採により減少傾向にある。
- ・防風林の減少により、野生生物の移動路の分断が懸念されている。
- ・戸当たりの規模拡大に伴う家畜ふん尿量の増加に対して、家畜ふん尿の適正な管理及び効率的な農地還元が必要である。
- ・農業用排水路の水質が悪化し、これらの排水路からの流出による下流域の水質悪化が懸念されている。

◆環境保全の基本的考え方

- ・農業用排水路の整備の際には、既存の防風林の保全に留意する。また防風林等の効果的、効率的、かつ景観に配慮した配置を行う。
- ・農業用排水路の整備の際には、生物の移動路を確保する等コリドーとしての機能を留意し、自然生態系へ配慮する。
- ・家畜ふん尿の効率的な農地還元による資源循環、土づくりの推進等により持続的農業を展開する。
- ・農業用排水路の整備と併せて、浄化機能を有する施設を一体的に整備し河川への負荷物質の流出を抑制する。

3. 環境配慮対策(案)

◎地域の環境保全に対する基本方針を踏まえ、動植物の生育・生息環境や地域景観の保全に配慮した整備を行う。

◆肥培かんがい〔水環境の改善〕

- ・肥培かんがい施設の整備により家畜ふん尿の適正利用を促進し、河川等への負荷物質の流出を軽減する。また、配水調整池については、飛来防止ロープを設置し、水鳥の転落を防止する。

◆排水路工〔水環境の改善〕

- ・排水路への土砂や窒素等の流入を抑制する土砂緩止林、排水路から河川への流出を抑制する遊水池を設置し、負荷物質の流入を防止する。

◆排水路工・用水路工〔緑地環境の保全〕

- ・土砂緩止林(林帯)を設置することにより、海域から河川上流部までの生態系の連続性(緑地環境ネットワーク)を形成し、鳥類及び昆虫類等の生息移動環境や魚類の生息環境を保全するとともに、地域景観の保全を図る。
- ・排水路や用水路(パイプライン)の路線選定にあたっては既存林の伐採を極力回避し環境変化が最小限となるよう配慮する。

◆排水路工〔水辺環境の保全〕

- ・土水路構造を基本とし、護岸が必要な場合は自然型護岸を採用する。また、現況線形を基本とすることで既存林の伐採を極力回避し、現況河道線形の保全を図る。